＝ 気軽に相談　すぐ行動！ ＝

伊藤てる子 News

てるちゃん通信　第54号　2022年12月

発行　江戸川区議会議員　伊藤てる子　TEL/FAX　6903ー7742

令和４年第３回定例会にて一般質問（9月21日）

問　「ともに生きるまちを目指す条例」の制定に伴い、熟年者や認知症の方とその家族を支えるための基本理念を示す条例制定を。

答　区民の理解を深めるために重要であり、どのような形にするか準備を進めている。

問　小岩地区のコミュニティバスの本格運行の実現を。

答　バス停増設やシルバーパスや障がい者割引導入等で利用者増をはかり、実証運行を来年６月まで延長し、本格運行に向け取り組んでいく。

問　区発行文書に「やさしい日本語」の一層の普及を。

答　８月に改定した「多言語による情報提供ガイドライン」をもとに、外国人、熟年者等にわかりやすい「やさしい日本語」を活用した情報発信に努めたい。

問　遺族に寄り添い、相談や手続きのための「お悔やみコーナー」設置を。

答　本庁舎移転前に設置できないか検討を進めている。

問　不登校児童・生徒への支援拡充について

答　タブレットを使った、オンライン授業等を全校で推進する。支援の核となる教育研究所の課題について検討していく。

令和３年度決算特別委員会

9/26～10/11

副委員長を務め、左記のような要望をしました。

●認知症あんしん検診の受信率向上で早期の支援に繋げる取り組みを。

●男性の育休取得を推進。不妊治療費の保険適用に合わせて、不妊治療休暇を取りやすい環境整備を。

●在宅子育てサポート事業「えどがわママパパ応援隊事業」の充実を。

●区施設にマイボトル用給水機の設置をすすめ、プラスティックごみ減少を。

●見守りキーホルダーと終活登録の普及やおひとり様支援事業の普及で区民の終活支援の推進を。

●区施設への生理用品の無料配布機器（O二T）の普及と困窮家庭への生理用品の配布で生理の貧困対策の推進を。

●ひきこもり対策として、相談や居場所事業の拡充を。

問　教員の負担軽減。中学校の部活動の地域移行と保護者連絡システムの導入について。

答　令和５、６年度は区の各連盟等の協力により、体制を整えていく。保護者との連絡システムは現在試行しているが、より良い方法を協議して導入していく。

（本会議動画）

ご挨拶

皆様に支えられ、４期16年間にわたり区議会議員として務めさせていただきました。皆様から頂いたお声から、多くの実績を作らせて頂きました。これからも「大衆とともに」との立党精神を胸に、少しでも皆様のお役に立てますよう、一人のために、地域のために、全力で働いてまいります。

（プロフィール）
昭和三十二年七月八日生まれ。
墨田区出身、中葛西在住
都立両国高校、創価大学卒
新菱冷熱工業（株）、豊岡会計事務所等を経て、平成十九年四月区議会議員に初当選。
現在四期目。

伊藤てる子ＨＰ

LINE公式アカウント

皆様のいのちと暮らしを守ります！

西葛西２丁目小島公園前に新しい郵便ポストを設置

投函口の広いポストの設置と地域の方の要望が実現。

旧ポスト

東西線・葛西駅、西葛西駅にホームドア設置

長年要望してきたホームドア設置が前倒しで実現！

西葛西駅

葛西駅（２０２１，１２）　西葛西駅（２０２２，５）

①価格高騰緊急支援給付金（５万円）

令和４年９月３０日時点で本区に住民登録があり、令和４年住民税均等割非課税世帯及び家計急変世帯が対象

②ひとり親等生活支援金（５万円）の支給

対象はひとり親世帯で児童扶養手当受給者等及び令和４年度住民税均等割非課税世帯で対象児童（2004, 4, 2 ～ 2023, 2, 28 までに生まれた子）を養育している方。江戸川区独自で児童一人５万円を支給。

★対象の方には区から通知があり、年内に支給予定。

★家計急変世帯等は申請が必要。

最大３０％戻ってくる！ えどがわ得々キャンペーン １２／１～１２／３１実施

区内のこのチラシのある店舗で paypay でお支払いをするとポイントが付与され、paypay 決済に使えます。期間中、最大 10,000 ポイントまで。

出産から子育てまで切れ目の無い支援を推進

妊娠期・妊娠届を健康サポートセンターに提出し、
保健師による妊婦全数面接。
妊婦健診１４回無料、ぴよママギフト（9500 円相当）

出産期・新生児訪問、産後ケア（宿泊型、通所型、訪問型）

乳児期・えどがわママパパ応援隊事業（在宅家事・育児支援
５００円／１時間、０歳児１４時間まで無料）
対象は０～２歳児（保育サービス利用者も対象）

★ベビーシッター利用支援事業
児童一人１４４時間まで、
多子世帯は２８８時間まで助成あり

子育て応援サイト

おひとり様支援事業等の推進

見守りキーホルダーや終活登録の普及。社会福祉協議会の「おひとり様支援事業」の普及で区民の終活支援を推進。登録すると社会福祉協議会が窓口となり、入院や介護等の手続きなど必要な支援が受けられる。

高校生等医療費の無償化実現、令和５年４月から

対象年齢は１８歳に達する年度末日まで
（働いていても可）
所得制限無し。通院時、入院時の食事療養分は自己負担無し。